

社会科学習指導案

- 1 日 時 令和3年10月28日(木)
- 2 学 級 2年1組 男子13名 女子17名 合計30名
- 3 単元名 第5章 近代の幕開け 1 近代世界の確立とアジア
③「世界の工場」の光とかげ

4 単元で育成する資質・能力

(1) 教材観

第5章「近代の幕開け」は、欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きを通して、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる単元である。また、産業革命は、社会に大きな変化をもたらした society3.0 の始まりでもある。生活の変化がもたらした社会の動きを、時代の移り変わりに関連づけて考えさせたい。

16世紀の欧米諸国では、国王を中心とする専制政治が行われていた。議会は無視され、基本的な人権は十分に保障されていなかった。しかし、イギリスの2回の革命やアメリカの独立戦争、フランス革命などを通して、人々は基本的人権を獲得し近代民主政治を築いた。市民の力が大きくなってきたことで、経済活動も盛んになり資本家と労働者という階級が確立されていった。

産業革命により資本主義経済が成立すると、欧米諸国は市場の拡大や原料の供給地を求めてアジアへ進出していった。この欧米諸国のアジア進出によって日本が開国し、富国強兵へと進んでいくことになる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、全体的には学習に対する関心が高く、授業に意欲的である。教師の問いかけにもよく反応する男子がいる一方で、女子はじっくり考える学級である。一方、授業に集中できず支援を必要とする生徒もいる。

資料活用の技術や思考力・判断力・表現力においては個人差が大きく、継続した指導の工夫が必要である。関心を持っているにもかかわらず、自分の言葉で説明したり、必要な資料を関連付けて分析したりする力は不十分で、教科書などの言葉をすぐに見つけてしまう傾向も見られる。

本単元に関わっては、小学校ではペリーが黒船で浦賀に現れ開国に向かう流れを学習した。しかし、欧州の歴史には触れられていないため、市民革命や産業革命については本単元が初めての学習となる。欧州の社会の変化から資本主義という考え方が広まり、資源を求め植民地拡大をめぐるアジアへの進出が、ペリー来航の背景にあることは理解していない。

歴史の授業では、社会の変化にある出来事の原因、ストーリー（流れ）を読み取り説明できるように学習してきた。

(3) 指導観

イギリスやフランスの絶対王政の様子から、国王が持っていた強い権力を理解し、どのようにして市民が権利を獲得してきたのか考えさせたい。

ここで市民が獲得した権利によって、資本家が力をつけ、イギリスが「世界の工場」と言われるまでに成長し、この産業革命による大量生産や交通網の発達などによって、生活が便利で豊かになっていったという産業革命の光の部分から読み取らせたい。その一方で、労働問題や社会問題

などのかげの部分があったことを資料から読み取り、産業革命によりはじまった社会の変化の様子を、多面的、多角的に考察させたい。

社会が発展した光の部分と、社会問題が発生したかげの部分から、資本主義と社会主義の考え方についても対比させ考えさせたい。

鎖国体制の日本に、ロシア、イギリス、アメリカと欧米諸国が開国を求めた背景には、欧米における産業革命や市民社会の成長、植民地拡大をめぐる争いが存在したことに気づかせたい。

5 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<p>欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>市民革命でだされた宣言や諸資料を調べ、情報を効果的にまとめる。</p>	<p>工業化の進展と政治や社会の変化、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解している。 ・市民革命でだされた宣言や諸資料を調べ、情報を効果的にまとめる技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工業化の進展と政治や社会の変化、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・ノートや学習シートを利用し、学習を振り返り、課題を見つけようとしている。

7 指導と評価の展開

○は主に「学習改善に生かす評価」、◎は主に「評定に用いる評価」

時	評価規準と評価方法	学習活動
0	主体的に学習に取り組む態度 (◎) ・江戸時代、欧米社会の変化が、アジアに与えた影響を予想している。	・欧米社会の変化とアジア進出が、アジア諸国や日本の開国にどのような影響を与えたのか、ペリーの来航と結びつけ予想する。
1	思考・判断・表現 (○) ・イギリスの2つの革命が、その後の社会にどのような影響を与えたのか考察し、表現している。	・イギリスの2つの革命の特徴を理解し、社会にどのような影響を与えたのか考察し、表現する。
2	知識・技能 (○) ・アメリカの独立戦争の経緯や独立宣言から、イギリス本国に求めた権利について理解している。	・アメリカの独立戦争の経緯を理解し、独立宣言の内容とロックの思想との共通点を理解する。
3 本時	本時 思考・判断・表現 (○) ・産業革命によって、生産方法や人々の生活がどのように変わったか考察し、表現している。 アセスメント 思考・判断・表現 (○) ・炭鉱で働く子どもたちの様子と子どもたちの1日のスケジュールから、資本家と労働者の関係を考察し、表現している。	・蒸気機関の発明や、鉄道の開通により、社会がどのように変化したか、光の面を考える。 ・炭鉱で働く子どもたちから、どのような背景で労働問題や社会問題が発生したのか、かげの面を考える。
	本時の評価 知識・技能 (○) ・産業革命がもたらした社会や生活の変化を、光とかげの面から説明している。	
4	思考・判断・表現 (○) ・欧米諸国が勢力を強め列強とよばれるようになった背景を、社会の改革や近代化と関連付けて考察し、表現している。	・欧米諸国が勢力を強め列強とよばれるようになった背景を、社会の改革や近代化と関連付けて考察し、他者と意見を交換しながら表現する。
5	学習に取り組む態度 (◎) ・欧米社会の変化が、アジアに与えた影響を自分の言葉で説明し、他者の意見と比較しながら追及しようとしている。	・欧米社でおこった産業革命や近代化の流れが、アジアに与えた影響を主体的に追究しようとする。
6	知識・技能 (◎) 思考・判断・表現 (◎)	・確認テスト

8 本時の達成目標

産業革命がもたらした社会や生活の変化を、光とかげの面から説明する。(知識・技能)

9 評価場面での生徒の記述例

〈知識・技能〉

「B おおむね満足できる」の記述例	
<p>○産業革命の光の部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気機関が発明され、生産力が向上した。 ・工業が発達し、イギリスは「世界の工場」とよばれた。 ・工業が発達し、大きな製鉄所や工場が建設された。 ・資本主義という経済のしくみができた。 <p>○産業革命のかげの部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貧富の差が拡大し、スラムができた。 ・長時間労働、子どもの労働が問題になった。 ・環境汚染などの社会問題が発生した。 ・資本主義の行きづまりが問題になった。 	
「A 十分満足できる」の記述例	
<p>○解決に向けての動きが説明されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働組合が結成されて労働条件の改善が進められた。 ・平等な社会を目指して、社会主義の考えが生まれた。 ・国民の声を政治に反映させようと参政権が拡大された。 	
「C 努力を要する」生徒への手立て	
<ul style="list-style-type: none"> ・技術の改良、機械の発明、蒸気機関の発明に注目させる。 ・長時間労働、子どもの労働などの社会問題に注目させる。 	

10 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点(◇)見方・考え方を働かせる場面(◆) 評価の観点【評価方法】
導入	1 クリスタルパレス、ロンドンのスラムの図から、なぜこのような違いが生じたのか予想する。	◇同じ時期、同じロンドンの様子であることを理解させ、なぜこのような違いが生じたのかを予想させる。
	2 学習課題の把握	
展開	産業革命は、社会や人々の生活にどんな変化をもたらしたのか。	
	3 産業革命によって、生産方法や人々の生活がどのように変わったか、考察する。	<p>◆産業革命による社会の変化を考えさせる。 蒸気機関の発明で△△△が変わった 鉄道が開通し△△△になった など</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>・産業革命によって、生産方法や人々の生活がどのように変わったか考察し、表現している。</p>

	<p>4 炭鉱で働く子どもたちの様子子どもたちの1日のスケジュールから、資本家と労働者の関係を考察する。</p> <p>5 社会問題を解決させるために、どのような動きが起こったか、教科書から調べまとめる。</p>	<p>◇絵やグラフから子どもたちの労働の実態を読み取らせる。</p> <p>◆子どもたちが炭鉱の働き手となっているのはなぜか。</p> <p>◆炭鉱への出入りに滑車が使われているのはなぜか。</p> <p>◇資本家の力が強まり、労働者の立場が弱くなったことを理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>・炭鉱で働く子どもたちの様子子どもたちの1日のスケジュールから、資本家と労働者の関係を考察し、表現している。</p> </div> <p>◇社会問題を解決させるために、労働組合が結成され、社会主義や参政権の考え方が生まれたことを説明する。</p>
<p>終末</p>	<p>6 産業革命がもたらした社会や人々の生活の変化を、光とかげの面から説明する。</p>	<p>◇産業革命のもたらした光の部分と、かげの部分をそれぞれまとめ、解決に向けてどのような動きがおこったか、説明できる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈知識・技能〉</p> <p>産業革命がもたらした社会や生活の変化を、光とかげの面から説明する。【学習シート】</p> </div>